

《 ネットトラブルに巻き込まれないために 》

北海道教育委員会
平成25年10月

■ Twitterの炎上

Twitterに投稿した不適切な内容が、ネット上に広められて、投稿した個人が特定されたり、内容によっては、罪に問われてしまうことがあります。一度広まってしまった情報を全て消すことは難しく、拡散された個人情報や不適切な投稿の内容は、半永久的にネット上に残ってしまうこともあります。そのような事態にならないように、Twitterを使うときは、「この内容を書いても大丈夫なのか？」と必ずもう一度考えてから投稿しましょう。



店の冷凍ケースに入った写真を投稿

■ どうして不適切な投稿をしてしまうのか？

Twitterの炎上がニュースなどで取り上げられるようになって、似たような投稿が繰り返されています。なぜこのような投稿をしてしまうのでしょうか？

面白いことをやっている自分を見てほしい！

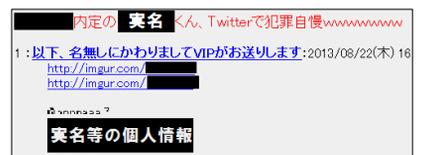
➡ 自分は面白いと思っても、行為自体が犯罪であったり、不法行為として損害賠償を請求される場合もあります。

友達しか見ていないだろうから大丈夫！

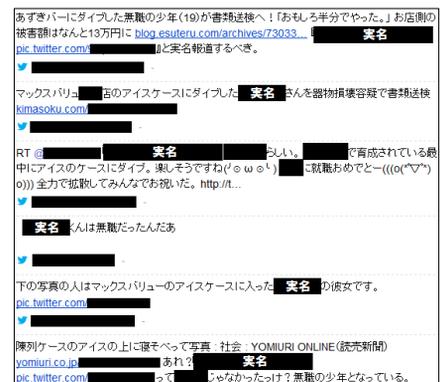
➡ Twitterの投稿は世界中に公開されています。炎上させる目的で不適切な投稿を探している人もいます。

写真の少年は約10万円分のアイスをダメにして、冷凍ケースを洗浄させる等の損害を店に与えたとして器物破損の容疑で書類送検されました。警察に話した少年の言葉が、このような投稿をしてしまう人たちの考え方をよく表しています。

「おもしろ半分でやった。知り合いに見せようと思ってやったら、こんな騒ぎになってしまった。」



投稿が掲示板サイトに載せられてしまい、炎上



個人情報がTwitterに出回り、現在も拡散中

⚠ ネット上で個人を特定することは容易です

たとえ炎上してしまっても本名や学校名を書いているから大丈夫！ そのように思っている人もいるかもしれませんが、ネット上の様々な情報から個人を特定することができます。



自分では書いていなくても、投稿の中で名前を呼ばれてしまっている



教室から外を撮った写真だけでも学校を特定することができます



「教室から〇〇が見えるのは●●高校だけ」
「高さから見て2階だとすると2年生かな」

・Twitterやブログなどは、様々なトラブルや犯罪に発展してしまう危険性があることを十分に理解し、家庭で決めた約束やルールをしっかりと守って利用しましょう。